

第 62 回 東葛しぜん観察会

長田谷津の初夏の自然に触れる

山口正明（船橋市）

日 時：6 月 27 日（日）9：30：～12：00 天気 曇り

場 所：市川市 大町自然観察園

参加者：大人 13 名、小学生 2 名、指導員 12 名、合計 27 名

担当指導員：片野和子、塚原晃子、山口正明

梅雨という時節の中、当日朝まで開催が危ぶまれましたが、なんとか天気も保ってくれました。「谷津」の地形の特徴と生物多様性についての重要性を説明した後、谷津に入りましたが、いきなりアオダイショウのお出迎え。木道脇の手すりの上にゆったりと鎮座している大将の脇を、皆でそろそろと通過。その時はコワゴワでしたが、「久しぶりにヘビを見て、豊かな自然を感じた」との声も。

今回、家族連れで小学生の女兒 2 人が参加しましたが、視線が低いいためもあるのか、生き物をよく見つけます。「オー！」とか「アソコ！」と言いながら、指差す先には、ヒメギス、カノコガ、イオウイロハシリグモ、ナガコガネグモ、などなど。

トンボは、オオシオカラトンボ、クロスジギンヤンマなどが美しい飛翔。そして、白眉は、何ととってもオニヤンマの羽化。前週の下見段階までは、未だ羽化は始まっていないようでしたが、今回、ドンピシャのタイミング。3カ所で羽化直後の黄色と黒色の美しいコントラストボディの成虫を見ることができました。一般参加者はもちろん、指導員も（の方が？）興奮、オニヤンマの季節の始まりです。

野草では、ハンゲショウ、ドクダミなど白色が目立ったほか、湿地性のガマ、フトイ、ウキヤガラ、クサヨシ、コウホネなど、特徴的な開花の姿を見ることができました。

今回初参加の男性は「こんな身近に素晴らしい自然が残っていることに驚いた」と。また、昨年9月の大町観察会に参加した女性は、「季節が違くと姿も違い、新鮮だった」と。梅雨の合間の観察会を、皆さんそれぞれ満喫したようです。



オニヤンマの羽化 左：ヨシ原 右：バラ園の側溝